

光明山古墳発掘通信 №3

浜松市文化財課（浜松市地域遺産センター） 2018 年 4 月 30 日

現地説明会を開催いたしました。

4 月 29 日（日）、現地説明会を開催し、610 名もの見学者を迎えることができました。当日は天候にも恵まれ、鋭い質問も飛び交う盛況ぶりでした。



光明山古墳現地説明会のようす

現地説明会では、墳丘の残存状況、調査した各トレンチの状況などの説明とともに出土品の速報展示を行いました。この古墳から出土した独特の埴輪についての説明を、参加者の皆さんは熱心に聞き入っていました。

葦石の実測作業を行っています。

光明山古墳で検出した葦石や埴輪について、詳細な記録を作成しています。今回の調査では、伝統的な手測り作業と、3次元スキャン画像を用いての作図と、2種類の方法を採用しています。



伝統的な手測り実測作業

調査区に 50cm 方眼に糸を張り、物差しで測った数値をもとに、葦石や出土した埴輪の状態を描写しています。



3次元画像の撮影

デジタルカメラを用いて数 100 枚に及ぶ画像を取得します。



画像の解析、合成

デジタル画像を PC 上で合成します。簡易なものは現場で即時表示も可能です。

【調査中は発掘調査現場をご見学いただけます】

◆5月中旬までの調査期間、来訪者の方には調査状況を紹介します。

※雨天時は休工します。

※都合により作業を休止することがあります。

※発掘調査現場には段差や傾斜等があり、大変危険です。無断での立ち入りはご遠慮ください。

問い合わせ 浜松市地域遺産センター

電話 053-542-3660

